

茨木市水道事業ビジョン・経営戦略（案）修正一覧

該当箇所	修正前	修正後
P6 図表3-1 4項目目	水道事業にかかる研修時間 評価：△	水道事業にかかる研修時間 評価：二
P6～P8	・料金回収率、・給水原価、・有収率、・重要給水施設、・基幹管路、・耐震管、・バックアップ率、・水安全計画、・経常収支比率	注釈を加えます。 (P8以降に注釈がある場合、移動します。)
P10 3行目	施設の適正配置を検討することが必要です。	施設の適正配置及び長寿命化を検討することが必要です。
P10 課題1-①	長寿命化を進めるを検討することが	長寿命化を検討することが
P20 3行目	統廃合を行わなければなりません。	統廃合を行うことが必要です。
P23【これまでの取り組み】1行目	彩都東部地区の需要に	彩都東部地区の水需要に
P40 (1) 3行目	今後の水道施設更新から、	今後の水道施設更新では、
P40 (2) 4行目	文末部分	「引き続き、再生可能エネルギーの導入を進めることが必要です。」を追加
P41 課題6-①	導入促進を進める	導入を進める
P42 6行目	有収水量は増加しましたが	有収水量は増加したものの に修正し、4行目末に移動
P42 8行目	文末部分	「将来にわたって適正な財源を確保するために、事業環境に対応した適正な料金体系のあり方を検討することが必要です。」を追加 課題7-①もあわせて修正
P43 図表4-36	電気・計装 59.1億円	電気・計装 87.7億円
P43 14行目	年平均で36.8億円	50年間に、年平均で36.8億円
P43 19行目	また、廃止した水道施設用地について、売却処分を原則として、	また、 <u>旧山手台送水ポンプ場跡地を売却するなど、統廃合により廃止した水道施設用地について、売却処分を行い、</u>
P44 課題7-④	技術継承が可能な職員の適正な配置や年齢構成の平準化を図っていくとともに、職員数の削減・熟練職員の退職によって技術力が低下しないよう、技術力の継承・向上のため、計画的に人材を育成していくことが必要です。	職員の適正な配置や年齢構成の平準化を図っていくとともに、技術力の継承・向上のため、計画的に人材を育成していくことが必要です、

該当箇所	修正前	修正後
P46 図表4-40 P49 図表5-4 P51 図表5-6	各課題の内容	文章の修正にあわせ、それぞれ修正します
P53【施策内容】	新たなサービスの導入に向けた取り組み (本文) スマートメータについて	① 新たなサービスの導入に向けた取り組み (本文) スマートメータ二について
P55施策2-2①	十日市浄水場中央運転管理業務	十日市浄水場中央運転監視業務
P57 TOPIC	・3行目 配水場やポンプ場などの ・図表5-9	・3行目 浄水場や配水場などの ・図表5-9を、分かりやすく修正します
P59【施策内容】①1行目	電気計装設備の更新時期	電気計装設備の老朽化状況
P68【施策内容】②5行目	公益社団法人日本水道協会	日本水道協会